



幹線リスト			
系統番号	敷設記号	敷設区間	配線種別・サイズ
	②	引込柱 → Q. B	6KV EM-CET38 [□]
	③	引込柱 → Q. B	EM-CE5, 5 [□] -2C EM-CEE-S1, 25 [□] -3C
	④	接地極 → Q. B	IV38 [□] IV60 [□] IV38 [□] ×2 IV5, 5 [□] ×2

- 注 記
1. 地中埋設 (FEP) 管よりの露出配管立上部分は異種管路接続材を使用し、接続厚銅電線管は溶融亜鉛メッキ (ZGP) 管とする。
 2. 厚銅電線管の地際部分及び異種管路接続部は防蝕テープ巻処理を行う。
(地中埋設部及び立上げ部分はGL+300mm以上、異種管路部分は600mm以上)
 3. ケーブル埋設部分には埋設シート高圧ダブル、他シングルW=150を設置する。
 4. 高圧ケーブルはハンドホール内に1ターン程度余長を取る事。
 5. 地中配管の施工に当り山砂等を使用し配管保護を行うこと。
 6. 図中細線表示は既設設備、太線表示は撤去・新設設備を示す。

凡例・注記		
記 号	名 称	摘 要
①	地 中 線 埋 設 標	コンクリート製
②	地 中 線 埋 設 標	鉄製 (t [□])
SS	SSハンドホール	既製 (900×900×1200-R8K-60)
H-2-9	ハンドホール	既製 (900×900×900-R8K-60)
※ハンドホール内にケーブル支持用樹脂製パイプ架台を設ける。		
GL-900	地中埋設配管の埋設深さ	GL-900以上 図中指示なき配管はGL-600以上とする。

接地の種類	記 号	接地抵抗値	接 地 極
○ A 種	EA	10Ω以下	接地銅板900×900×1, 5t×1枚 EB (14φ-1500) ×3連- 3組
○ B 種	EB	30Ω以下	接地銅板900×900×1, 5t×1枚 EB (14φ-1500) ×3連- 5組
○ D 種	ED	100Ω以下	接地銅板900×900×1, 5t×2枚 EB (14φ-1500) ×3連- 5組 接地銅板900×900×1, 5t×1枚 EB (14φ-1500) ×3連- 3組
・ 高圧避雷器用	EAH	10Ω以下	EB (10φ-1500) ×1
○ 測 定 用	ETP ETC		EB (10φ-1500) ×1
・ 交換機、通信用	Et EA t	10Ω以下	接地銅板900×900×1, 5t×1枚 EB (14φ-1500) ×3連- 3組
A 種	EA	IV38 [□] (PF22)	交換機用 Et
B 種	EB	IV60 [□] (PF28)	通信用 EA t
D 種	ED	IV38 [□] (PF22)	通信用 ED t
測 定 用	ETP ETC	IV5, 5 [□] (PF16)	

- ・ 接地銅板枚数・銅棒の組数は最低組数とし、既定の接地抵抗値を必ず確保の事。
又各接地極には接地埋設標を取り付けのこと。
接地埋設標は黄銅製黒色刻印とし測定付。

▼ 機械はつり補修リスト				
記 号	区 分	口 径	コンクリート厚数量	備 考
力	擁壁	75φ	300mm	2
キ	擁壁	125φ	300mm	2

※コア抜きは簡易鉄筋探査後に行うこと。